



平成20年5月7日

各 位

会社名 株式会社エフピコ
 代表者名 代表取締役社長 小松 安弘
 (コード番号 7947 東証・大証第一部)
 問合せ先 取締役経理財務本部長 瀧崎 俊男
 (TEL. 084-953-1145)

業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成19年11月9日の中間決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の通期における連結・個別業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 当期の通期業績予想数値の修正 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(1) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年11月9日)	126,000	7,300	7,700	4,570
今回修正予想(B)	125,513	5,987	6,453	4,157
増減額(B-A)	△487	△1,313	△1,247	△413
増減率(%)	△0.4	△18.0	△16.2	△9.0
前期(平成19年3月期)実績	124,233	7,628	8,126	4,515

1株当たり予想当期純利益 192円18銭

(2) 個別

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (平成19年11月9日)	120,000	6,390	6,700	3,760
今回修正予想(B)	119,297	5,203	5,512	3,252
増減額(B-A)	△703	△1,187	△1,188	△508
増減率(%)	△0.6	△18.6	△17.7	△13.5
前期(平成19年3月期)実績	117,768	6,880	7,356	4,204

1株当たり予想当期純利益 150円37銭

2. 修正の理由

平成20年3月期の通期における連結業績予想は、売上高につきましては、製品値上げに関する当業界各社の対応に差が見られ、また、稼働率を意識したと思われるシェア獲得競争等が一部で見られたため、前回予想をやや下回る見込みです。経常利益につきましては、前述の売上高が計画より伸びなかったこと及び製品値上げの決着時期が、特に大手ユーザーを中心に遅れたことにより、前回予想より減少となる見込みです。これに伴い個別業績につきましても、連結業績と同様の理由により修正いたします。

当社グループにおける、当期の原材料費は、前期に比べ 39 億 50 百万円の上昇となる見込みです。また、費用は、素材切替や製品の軽量化及び今後の成長戦略を見据えた金型及び生産設備の償却等により、前期に比べ 9 億 78 百万円の増加となる見込みです。一方、素材切替、製品の軽量化、製品値上げ、新製品投入、生産・物流面での社内合理化等による利益改善額は、前期比 32 億 55 百万円となる見込みです。これらの結果、当期連結経常利益は、64 億 53 百万円となり前期に比べ 16 億 73 百万円の減益、中間決算時に発表いたしました修正計画に対しましては、12 億 47 百万円の未達となる見込みであります。

- * 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上